

強制徴用訴訟に関する対国民政府立場発表文
(仮訳)

政府は、日帝強占期の強制徴用被害者に関する司法府の判断を尊重し、大法院の本日の判決に関する事項を綿密に検討する。

これを土台に、国務総理が関係部処及び民間専門家等とともに諸般の要素を総合的に考慮し、政府の対応策を講じていく。

政府は、強制徴用被害者らが経験した苦痛について気の毒に考えており、被害者らの傷が早期に、そして最大限癒やされるように努力していく。

政府は、韓日両国関係を未来志向的に発展させていくことを希望する。

2018年10月30日
国務総理 李洛淵